

地域おこし協力隊だより

「鳥の巣」

スポーツセンター勤務

佐藤 絵里架

みなさんこんにちは。今月号を担当させて頂きます佐藤です。

早いもので、私が滝上町の協力隊員となり活動してきて、2年が経ちました。

地域おこし協力隊制度は、最長で3年間ですので、4月からは、いよいよ協力隊最終年度となる3年目を迎えます。自然豊かで、町民の方々がとても温かいこの滝上町で、3年目も協力隊員として活動できることを、とても嬉しく思います。

プライベートなことです。昨年、自宅の換気口に鳥が巣を作っていました。春から夏にかけて、3度程、私の自宅の換気口から雛が巣立っていました。最初は、とても微笑ましい気持ちで見守っていたのですが、恐ろしいことに、雛達は早朝から夕方迄、ひっきりなしに鳴き続けるの

です！しかも、約2週間もの間！なんとも言えない気持ちで過ごしていると、やがて無事に巣立ったのでしよう、静かで平穏な日々が戻ってきました。良かったと一安心していたところ、また雛の鳴き声

……すぐに2度目がやってきました。イライラしてはいけない、広い心を持たないと！と自分に言い聞かせても、広い心は持てずにイライラの日々(笑)そこでこの頃から雛が巣立ったら、巣を撤去するしかないと考えました。

しかし、2度目の巣立ちが終わり、巣の撤去に躊躇していると、「2度あることは3度ある」ということです。3度目が……またか！というウンザリした気持ちに、お願いだが出て行って欲しいという願い、そしてイライラするという、とても複雑な心境で、3度目の巣立ちを見届けました。

鳥達がやつと居なくなると、巣を撤去しようと思ったとき、季節は秋。私の大の苦手な虫が沢山いる時期なので断念。

そして、大量の虫が発生している危険な秋が過ぎ去り、雪が積もりはじめた頃、今やるしかないことを決し、換気口を開けてみました。そこにはとてもとても立派な鳥の巣がありました。

なんとか無事に巣を撤去し、鳥が入ってきていただろう穴も塞いで作業完了です。春になって鳥が戻ってきて、巣がなくなっていることを知ったら？？と思うと、少々胸が痛みますが、今年は静かな自宅での時間を過ごせそうです。



▲「換気口につくられていた鳥の巣」

▼問い合わせ先

まちづくり推進課

☎29-2111(内254)

滝上町地域包括支援センター 運営協議会委員の募集について

職務内容

地域包括支援センターの業務が中立・公正、効率的に行われていくために、地域包括支援センターの設置や運営に関することなどを審議いただきます。

募集内容

- ・募集人員数
- ・任期
- ・募集要件

2名

平成30年4月1日～平成33年3月31日(3年間)

滝上町に居住し、かつ住民登録している方で、年齢満40歳以上の方(ただし、下記に該当する方は除きます。)

- ①成年後見を受けている方
- ②禁固以上の刑に処され、その執行が終わるまでの方、又はその執行を受けることがなくなるまでの方
- ③主義主張の実現には、暴力もいとわないとする者、又は同趣旨の団体等を結成し若しくはこれに加入している者

- ・応募方法
- ・決定

応募用紙は役場保健福祉課保健係に用意しておりますので、記入のうえ**平成30年3月19日(月)まで**に同係へ提出してください。

応募対象者に対し、応募要件等の資格審査を行い決定します。なお、応募者多数の場合は、審査通過者全員の抽選により決定します。

問い合わせ先

保健福祉課保健係 ☎29-2111 (内232)